

## 第16回三番瀬評価委員会の開催結果（概要）

- 1 開催日時 平成22年7月7日（水）午後6時00分から8時50分
- 2 場 所 千葉県国際総合水泳場会議室
- 3 出席者 委員6名  
（細川座長、蓮尾副座長、望月委員、岡安委員、宮田委員、横山委員）
- 4 参加人数 20名

### 5 配布資料

- 資料1-1 第15回三番瀬評価委員会の開催結果（概要）
- 資料1-2 第30回三番瀬再生会議からの指示事項について
- 資料2-1 平成21年度三番瀬中層大型底生生物調査報告書概要（案）
- 資料2-2 平成21年度三番瀬藻類調査報告書概要（案）
- 資料2-3 平成21年度三番瀬付着生物調査報告書概要（案）
- 資料3-1 三番瀬自然環境総合解析手法（案）
- 資料3-2 三番瀬自然環境総合解析スケジュール（案）

### 6 結果概要

#### （1）開会

県総合企画部赤塚理事からあいさつがあった。

#### （2）開催結果の確認委員

細川座長からの指名により、蓮尾副座長及び横山委員が会議開催結果の確認を行うこととなった。

#### （3）議事

##### 議題1 第15回三番瀬評価委員会の結果及び第30回三番瀬再生会議からの指示事項について

事務局から、第15回三番瀬評価委員会の開催結果概要（資料1-1）及び第30回三番瀬再生会議からの指示事項（資料1-2）について説明を行った。

##### 議題2 平成21年度三番瀬自然環境調査の評価について

三洋テクノマリン株から「資料2-1：平成21年度三番瀬中層大型底生生物調査報告書概要（案）」の内容を説明し、意見交換を行った。

#### 【主な意見】

横山委員：底生生物についてビデオ撮影法（H14）とダイバーによる目視観察法（H21）の精度比較が必要である。

望月委員：噴火口型の巣穴で、生物の寿命が1年、2年、5年等でデータは随分違ってくるのでチェックする必要がある。

宮田委員：噴火口型の巣穴は、大きな変動があったと見るべきで、劇的にデ

ータとして変化しているものは注意すべきである。

三洋テクノマリン(株)から「資料2-2：平成21年度三番瀬藻類調査報告書概要(案)」の内容を説明し、意見交換を行った。

**【主な意見】**

宮田委員：過去と比較するための議論より、まず今、付着しているものを基準として議論を展開すべきだと思う。

望月委員：カキ礁等、藻類の基質分布との関係について、工夫して分析する必要がある。

三洋テクノマリン(株)から「資料2-3：平成21年度三番瀬付着生物調査報告書概要(案)」の内容を説明し、意見交換を行った。

**【主な意見】**

宮田委員：種ごとに、今回の調査データについて、平面的な部分と時系列的な部分を図表できちんと分析をかけることも一つの手法としてある。

**●細川座長まとめ**

付着生物のマガキや、噴火口型の巣穴を作るスナモグリ属については、総合解析の中でもできるだけ解析の対象として重点を置いてやっていくことが必要である。

三番瀬再生事業の影響がどうか、三番瀬全体がこういったことで大きく変化しているかという点については、平成21年度の調査結果から、直ちに悪影響というようなことは結論づけられない。

**議題3 三番瀬自然環境総合解析について**

自然保護課及びいであ(株)から「資料3-1：三番瀬自然環境総合解析手法(案)」の内容を説明し、意見交換を行った。

**【主な意見】**

岡安委員：インパクト・レスポンスフローのイメージ図で、表があれば必ず裏の効果があると思うので、これからいろいろ考えながらやっていただきたい。

波浪変形計算で、エネルギー平衡方程式を用いるのであれば、計算格子は10mメッシュでも十分である。

事務局から「資料3-2：三番瀬自然環境総合解析スケジュール(案)」の内容を説明し、意見交換を行った。

**【主な意見】**

細川座長：総合解析はどのような体制で臨むのか。

回答(事務局)：評価委員会事務局の政策企画課と、総合解析を委託契約し

ている自然保護課が窓口となり、環境研究センター等、県の機関と連携して行っていく。

望月委員：12月の再生会議に対する報告書が、今回の総合解析の最終取りまとめとなるのか。年度末で良いと思う。

回答（事務局）：可能な限り最終報告にさせていただきたいが、12月の再生会議へはその時点でまとまったことについて報告してもらおう。

● 細川座長まとめ

波浪変形計算で、計算格子は10mメッシュでも十分である。

12月の再生会議への報告では、積み残したものが出てきた場合は、状況を説明し、再生会議の皆様にご理解をいただくような報告をする。

各作業部門検討会に参加していただく有志の委員について、出席委員に細川座長から確認した結果は以下のとおり。

作業部門検討会	委員
地形・流況・水質	細川座長、岡安委員、横山委員
海生生物	望月委員、宮田委員
鳥類	蓮尾副座長、望月委員、箕輪義隆氏（ボランティア）

（4）閉会

付記：欠席委員には事務局から後日確認し、野村委員と清野委員に「海生生物作業部門検討会」に参加してもらったことになった。